

令和5年度



ふくおかしの 家計簿

目次

予算とは？何に使っているの？

- 予算って何？令和5年度の予算は？……………01
- 収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？……………01~02
- 市民一人あたりにすると？……………03
- 予算を「家計」に例えると？……………04
- どのような事業に使うの？……………05~10

福岡市の財政状況はどんなの？

- 収入や支出はどんななの？……………11
- 新たにいくら借金するの？……………12
- 借金はいくらあるの？……………12
- 借金(市債)は何に使っているの？……………13
- 借金を減らしているけど、施設の更新(投資)はしないの？…13
- 貯金はいくらあるの？……………14
- 福岡市の財政状況のまとめ……………14

福岡市の財政をどうやりくりしていくの？

- 将来にわたり持続可能な財政運営に向けた取組みの方向性は？……………15
- 将来にわたり持続可能な財政運営に向けた令和5年度における取組みは？……………16

福岡市の
令和5年度予算
財政状況
将来にわたり持続可能な財政
運営に向けた取組み
を紹介します！

1 予算とは？ 何に使っているの？

[この冊子で使われている数値は、各項目で四捨五入していることがあるため、合計などが一致しない場合があります。]

●予算って何？

福岡市に1年間に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。つまり、みなさんが収めた税金などが、どのような事業にどれくらい使われるのかを示したものです。福岡市の予算は、どの収入がどこに使われているか、収入と支出の関係をはっきりさせるため、3つの会計に分かれています。

●令和5年度の予算は？ ()は前年度

全会計 2兆844億円 (2兆857億円) 前年度比 0.1%減

一般会計 1兆498億円 (1兆410億円) 前年度比 0.8%増
福祉や教育、道路や公園の整備など行政の基本的な事業を行う会計(予算の中心)です。

特別会計 7,007億円 (7,155億円) 前年度比 2.1%減
使用料など特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計です。福岡市には現在13会計(国民健康保険事業、介護保険事業など)あります。

企業会計 3,340億円 (3,291億円) 前年度比 1.5%増
民間企業と同じように、事業収益で運営している会計です。福岡市には現在5会計(モーターボート、下水道、水道、工業用水、地下鉄)があります。

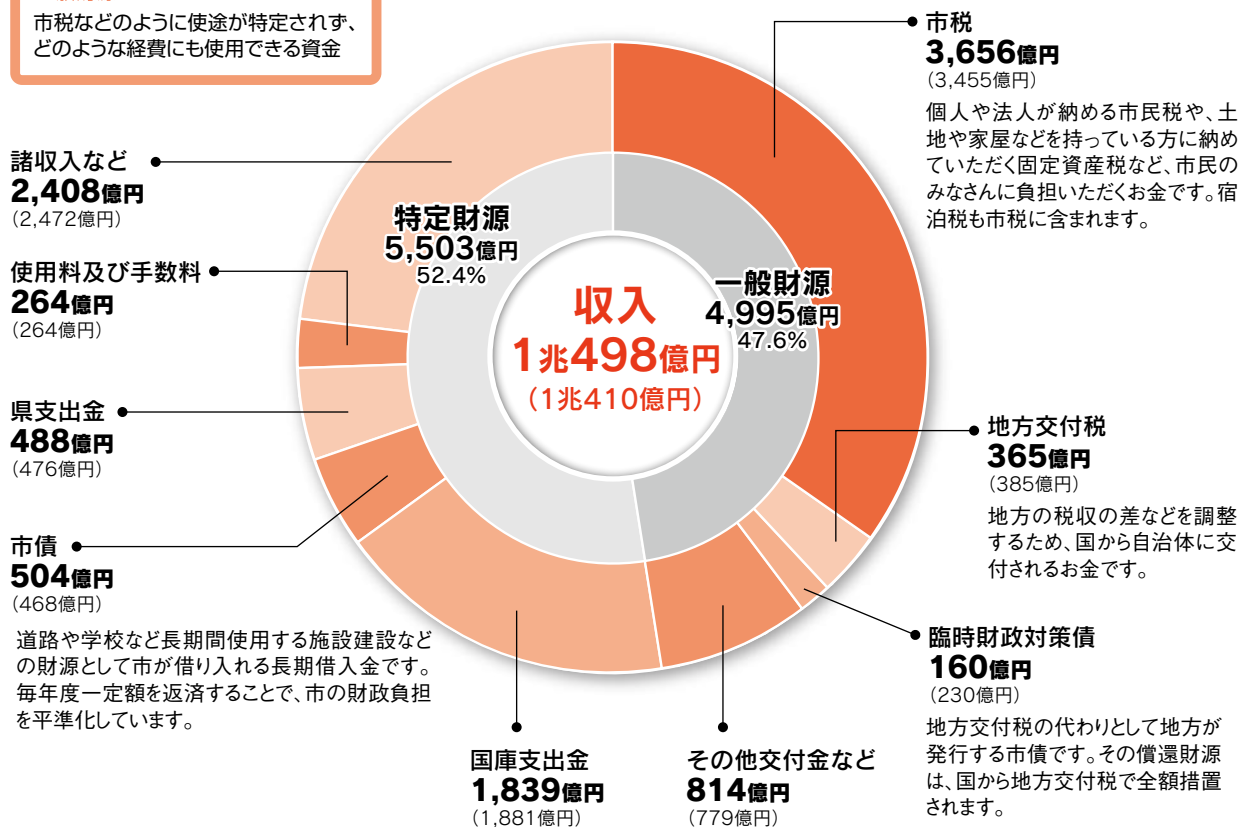
●収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？ ()は前年度

<一般会計の収入> 収入には、市税のほか国や県から交付されるお金や借入金などがあります。

用語の解説

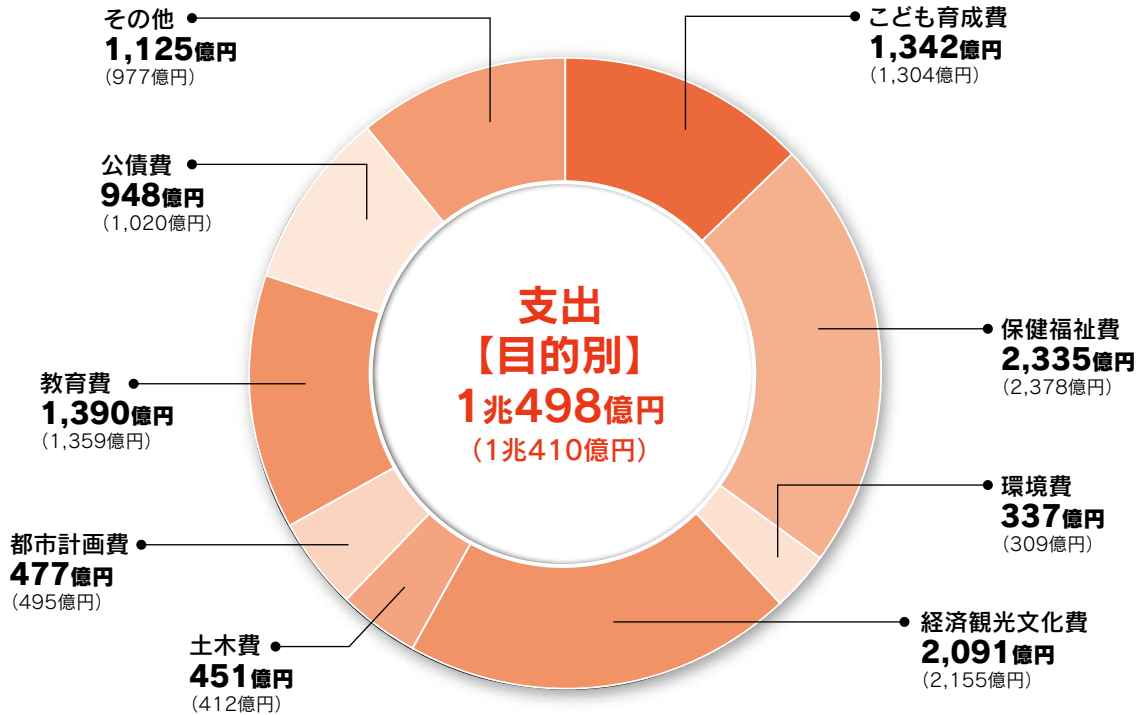
一般財源

市税などのように用途が特定されず、どのような経費にも使用できる資金



<一般会計の支出>

【目的別】 予算では、目的ごとにどれだけ使うのかを定めています。
目的別の支出の内訳を見ると、子育てや教育、保健・福祉・医療などにかかる予算が全体の48%を占めています。



【性質別】 予算は目的別だけでなく、人件費や物件費など性質による分類からも、どれだけ使うのかが見ることができます。

用語の解説

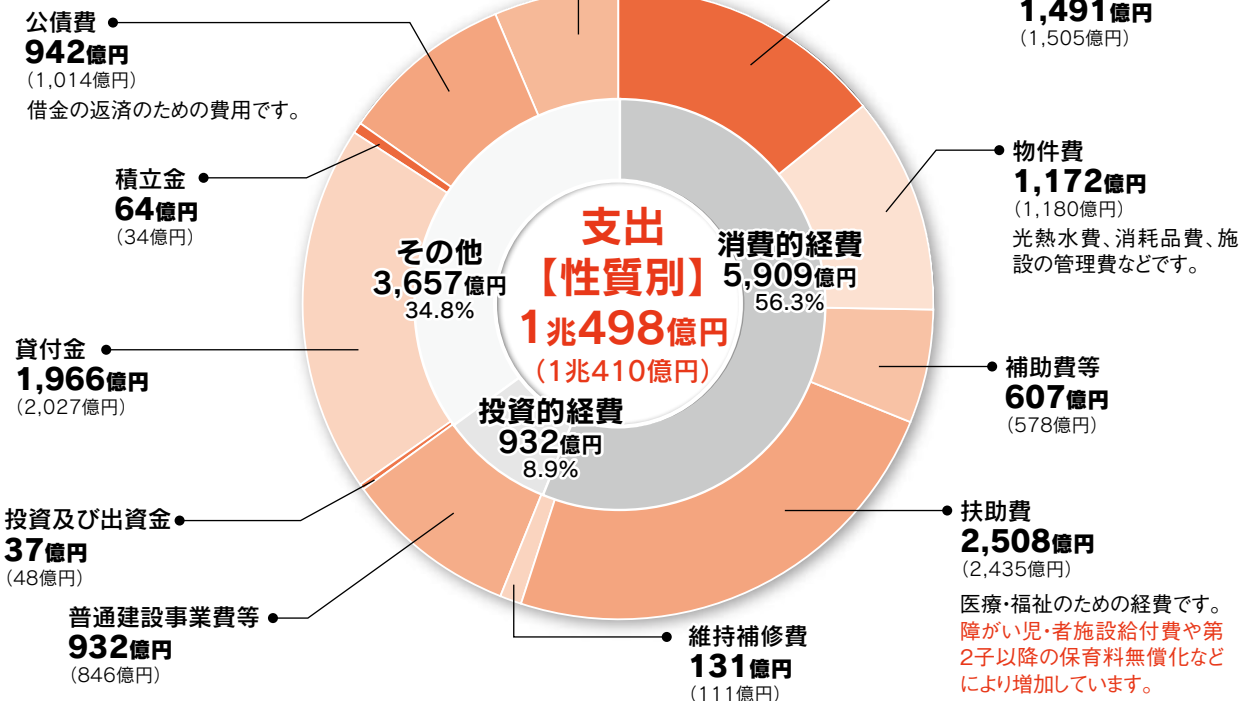
投資的経費

道路や公園、学校など社会資本を整備するための経費

繰出金













648億円

(632億円)
特別会計・企業会計に支出する経費です。



●市民一人あたりにすると？

一般会計の予算を市民一人あたりに換算すると約66万円となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな施策に取り組んでいます。

	令和5年度予算		市民一人あたりの予算 ※
	億円	円	
保健・医療・福祉に 	2,352	148,700	(22.4%)
地域経済の発展に 	2,175	137,500	(20.7%)
学校や教育に 	1,460	92,300	(13.9%)
こどもの育成に 	1,349	85,300	(12.8%)
道路・住宅・計画的なまちづくりに 	809	51,200	(7.7%)
行政の運営に 	752	47,500	(7.2%)
災害に強いまちに 	457	28,900	(4.4%)
地域活動・文化・スポーツに 	368	23,300	(3.5%)
清潔なまちに 	333	21,100	(3.2%)
公園整備や緑の保全に 	179	11,300	(1.7%)
地下鉄・水道事業の支援に 	159	10,100	(1.5%)
新鮮で安全な食料の提供に 	105	6,600	(1.0%)
合 計	10,498	663,800	(100.0%)

※令和4年12月末現在の人口(158万1,398人)で算出しています。

※()内は、構成比を示しています。

●予算を「家計」に例えると？

一般会計の予算(1兆498億円)を年間の収支が500万円(1ヶ月あたり41万6,000円)の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。
諸手当のうち、地方交付税は、どの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。
また、国・県支出金は、生活保護や道路整備など市の事業の一部を国や県が一定割合を負担するものです。

ふくおか家・1カ月の家計簿

《収入》

給与	31万2,000円
うち基本給 (市税などの自主財源)	18万円
諸手当 (地方交付税や国・県支出金など)	13万2,000円
銀行からの借入 (市債)	2万6,000円
銀行からの引き出し金など (貸付金元利収入)	7万8,000円
計	41万6,000円

《支出》

医療費・保育料など (扶助費)	10万円
ローンの返済 (公債費)	3万7,000円
食費 (人件費)	5万9,000円
光熱費や通信費など (物件費)	4万9,000円
家・車・電化製品の修理・買い換え (維持補修費、普通建設事業費等)	4万2,000円
家族への仕送り (繰出金、補助費)	5万円
銀行への預け金など (貸付金等)	7万9,000円
計	41万6,000円

義務的経費

ローンを3万7,000円返済する一方、新たな借入は2万6,000円に抑えました。
借金残高を減らす努力をしております。
令和3年度決算でのローン残高は、729万円です。一方、家や車などの資産は、1,550万円あり、健全な家計運営に努めています。

医療費・保育料など(扶助費)、ローンの返済(公債費)、食費(人件費)の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。

これが多いのは、一般家庭のエンゲル係数(家庭における食費の占める割合)が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。ちなみに、福岡市の歳出総額に占める義務的経費の割合は、47.1%です。

●どのような事業に使うの？

子育て支援の拡充

多子世帯へ

第2子以降の保育料無償化

23億3,516万円

保育所(認可外含む)や幼稚園に通う第2子以降の児童の保育料を無償化します。

子育て世帯の住替え助成を拡充

1億3,615万円

子育て世帯の住替えに係る初期費用の一部助成について、所得要件を廃止し、助成上限額(最大25万円)の引上げ要件を子ども3人以上から2人以上へ拡充します。



サポートを必要とする子どもたちのために

障がい福祉サービス利用料を軽減

1億2,435万円

障がい福祉サービス利用料について、所得制限を廃止し、就学前の障がい児は無償に、学齢期の障がい児は、毎月の負担上限額を一律3,000円に軽減します。(令和6年1月から)

子ども食堂に対する助成の拡充

1,771万円

子どもの食と居場所づくりを行う民間団体に対し、運営費の補助上限額の引上げなど、助成を拡充します。



すべての子育て家庭へ

おむつと安心定期便

11億7,119万円

子育て家庭の孤立化を防ぎ、安心して子育てができる環境づくりをすすめるため、0~2歳の子育て家庭を定期的に見守りながらおむつ等をお届けします。



子ども医療費の助成対象を

高校生世代まで拡大

61億1,677万円

子どもたちが家庭環境に左右されず、切れ目なく安心して医療を受けられるよう、助成対象を高校生世代まで拡大。(令和6年1月から)
通院:1医療機関500円/月まで
入院:無料



産前・産後ヘルパー、産後ケアの

利用料を軽減

1億4,588万円

ヘルパー派遣の対象に妊婦を追加し、ヘルパーや訪問型の産後ケアの利用料を500円/回にするなど、利用料を軽減します。



次世代をはぐくみ、誰もが元気に暮らすまち

教育環境の充実

学習指導員を配置し1人ひとりに
寄り添った学習を推進 **7,753万円**

学習指導員を配置(221人)し、
子どもたちの学びの保障と
1人ひとりの学習内容の
理解と定着を推進します。



中学、高等学校に部活動指導員等を
大幅増員 **1億8,775万円**

部活動指導員を110人から
222人へ、部活動支援員を
290人から348人へ増員し
ます。



何歳でもチャレンジできるまち

人生100年時代に向けた「福岡100」
を推進 **4,076万円**

先導事業(食を通じた多世代交流)の実施とともに、
企業等の新たな発想・手法を取り入れたプ
ロジェクトを実施します。

福岡100

オーラルケア28(にいほち)プロジェクト
3,549万円

治療よりも予防に重点を置き、関係機関と協力し
ながら、各ライフステージの特性に応じた効果的
な歯科口腔保健推進プロジェクトを実施します。



誰もが安心して暮らしやすいまち

認知症フレンドリーシティの拠点開設
7,927万円

「認知症フレンドリーシティ・プ
ロジェクト」の取組みを集約し、
市民や企業に最新の知見・技術
等を提供するとともに、取組み
を国内外に発信する拠点とし
て、「認知症フレンドリーセン
ター(仮称)」を開設します。



誰もが自分らしく遊べるインクルーシブ
な子ども広場整備 **1億5,750万円**

令和4年度に策定した「インクルー
シブな子ども広場整備指針」に基
づき、インクルーシブな子ども広場
の設計・整備を進めます。令和5年
度は、百道中央公園の工事に着手
します。(令和6年春供用開始予定)



民生委員をサポートする支援員を
全市展開 **5,288万円**

民生委員の相談支援や同行訪問などのサポ
ートを行う地域共生推進員を増員し、全市展開し
ます。



野良猫・多頭飼育の猫の不妊去勢手術
支援 **870万円**

野良猫の繁殖や社会問題となっ
ている多頭飼育崩壊を抑制する
ことで、猫の収容を減らし、ひいて
は殺処分の削減を図るため、野良
猫及び多頭飼育の猫の不妊去勢
手術支援を試行的に実施します。



魅力にあふれ、国内外から選ばれ成長するまち

観光・MICEで賑わい、潤うまち

世界水泳選手権福岡大会の開催

86億1,291万円

世界水泳選手権福岡大会(7月14日~7月30日)及び世界マスターズ水泳選手権九州大会(8月2日~8月11日)を開催します。



都心の水辺の憩いと回遊拠点づくり

7,190万円

春吉橋迂回路橋上広場及び清流公園の整備等による都心の水辺の憩いと回遊拠点づくりを行います。また、夜間の賑わいづくりに向けた光と水のイベント等を行います。



博多旧市街プロジェクト

2億1,591万円

歴史・文化に配慮した趣ある道路整備を行うとともに、地域や民間事業者との連携を強化し、世界水泳選手権にあわせたおもてなしイベント等の開催や、フォトスポットの造成等に取り組みます。



海辺を活かした観光振興

4億5,152万円

志賀島・北崎地区において、海辺の観光周遊コースの形成に向けた豊かな自然環境と調和した道づくりや、市営渡船と連携した集客促進、レンタサイクルの導入促進、回遊を促進する立ち寄りスポットの整備・検討等に取り組みます。



多様な人材や企業が集まるまち

天神ビッグバンなど都心部のエリアプロモーション

500万円

都心部の魅力を伝える動画等を作成し、ホームページやSNS、セミナー等で発信していきます。



急成長を目指すスタートアップを起業前から集中支援

7,629万円

スタートアップ都市宣言後10年間の取組みを踏まえ、事業創出・拡大や資金調達を支援し、急成長を目指すスタートアップの輩出と、既存スタートアップの更なる成長を促進します。



憩いと潤いを感じられるまち

都心の森1万本プロジェクト

1億2,215万円

緑豊かなまちづくりを推進するため、市民や企業と共働き、都心部をはじめとして全市域における植樹運動を展開します。



油山牧場・市民の森リニューアル

4億232万円

令和5年度中のリニューアルオープンに向けて、飲食・物販、自然体験、宿泊施設等を整備します。



新たな価値を生み出すまち

九州大学箱崎キャンパス跡地の
まちづくり **23億2,311万円**

先進的まちづくり「Fukuoka Smart East」の情報発信やモビリティ等の実証、土地区画整理事業等の都市基盤整備を実施します。また、跡地周辺の道路において無電柱化等の整備を推進します。



アートのある暮らしの推進 **5,034万円**

アートのある暮らしの推進や、まちなかをアートで彩るアートイベントを開催します。

FaN
Fukuoka Art Next

「Artist Cafe Fukuoka」の運営 **1億2,877万円**

大型作品の制作・展示に向けた旧舞鶴中学校の体育館の改修や、新たにアーティストの成長につながるプログラムを実施するとともに、アーティストと市民・企業が交流する機会を創出します。

アーティスト・イン・レジデンス事業 **2,442万円**

国内外からアーティストを招聘し、創造活動を支援します。



カーボンニュートラルの推進

まちづくりへの水素実装 **1億5,586万円**

市民生活への水素エネルギーの実装や新たな需要創出に向けて、九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりにおいて、水素供給パイプラインの整備等の取組みを推進します。



水素で動く新たなFCモビリティの導入推進 **1億1,654万円**

水素の需要拡大を目的に、FC給食配送車やFCパツカー車の導入、FC救急車の実証等新たなFCモビリティの導入を推進します。



現行のパツカー車・救急車

電気自動車等の購入や充電設備設置を支援 **7,625万円**

EV、PHEV、FCVの購入や急速充電設備、集合住宅の普通充電設備の設置などを支援します。

EV: 10万円、PHEV: 5万円、FCV: 60万円

急速充電: 上限100万円/基

普通充電: 上限100万円/施設

※集合住宅向け(1基あたり20万円) など



市民等が利用できる急速充電設備を
市有施設に設置 **6,158万円**

南体育館など市有施設に急速充電設備を5箇所新設します。

<設置予定施設>

南体育館、福岡市海浜公園、西南杜の湖畔公園、西部工場、臨海工場



主要事業

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

住民票の写し等のコンビニ交付手数料
を減額 **1億8,550万円**

コンビニ等のマルチコピー機で証明書を取得する際の手数料が令和6年3月末まで10円になります。住民票・印鑑証明・戸籍謄抄本・戸籍附票が取得可能で、令和6年1月からは、所得証明書や個人市県民税納税証明書も加わります。

公共施設案内・予約システムの刷新
(新コメネット)の本格運用 **1億4,248万円**

スマートフォンでも見やすく、入力しやすい画面デザインへの対応や、キャッシュレス決済の導入など、使いやすさの向上を図るとともに、対象施設を拡充します。



スポーツ施設、文化施設に加え、対象施設を拡大

農林水産業の振興

地域資源を活用した肥料や飼料の
利用に向けた取組を支援 **787万円**

地域資源が循環する持続可能な農業へ向けて、「肥料の地域資源活用」、「自給飼料の生産拡大」、「耕畜連携の推進」の3つのチャレンジを支援します。

輸出拡大のための国際認証取得
(水産エコラベル)を支援 **320万円**

香港・シンガポールへ輸出している「唐泊恵比須かき」のブランド力向上、輸出拡大のため、資源管理や環境配慮への取組みを証明する国際認証の取得経費の一部を助成します。



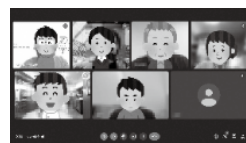
地場企業・商店街・働く人を応援するまち

商店街の観光資源化や周辺の観光施設
との連携を支援 **2,204万円**

商店街の新たな賑わいを創出するため、専門家等を派遣し、商店街の観光資源化や周辺の観光施設との連携に向けた計画策定、イベント実施等を支援します。

中小企業の生産性向上セミナーや
IT導入スキル養成講座 **1,281万円**

生産性向上のためにデジタル化を推進する人材を育成する、経営層対象の経営セミナー、社員対象のIT導入スキル養成講座を実施します。



<IT導入スキル養成講座の様子>

市民とともに福岡の将来を描く

新たな「福岡市基本計画」の策定
に向けた検討 **4,100万円**

子どもや若者をはじめ、市民等から幅広く意見を募集する市民参加プロジェクトを実施するとともに、次期基本計画の素案の検討を行います。

分野別基本計画の改定に向けた検討
1億2,741万円

「都市計画マスタープラン」
「都市交通基本計画」
「緑の基本計画」の
改定に向けた検討に
着手します。



各区のまちづくり

東 区

東区個別避難計画作成促進事業

72万円

各校区毎にワークショップを開催し、地域による避難行動要支援者の個別避難計画作成を促進します。



博多区

博多元気子育て支援事業

45万円

発達が気になる児とその保護者が安心して過ごせるように、保護者同士が交流したり、専門職に相談できるサロンや、発達障がいについて理解を深めるための講演会を開催します。



中央区

中央区役所フロア改修

1,964万円

1階フロアを市民に分かりやすい機能的なレイアウトに見直し、木質化によるプライバシーに配慮した受付カウンターや、引越しオンライン予約者専用窓口の設置、来庁者の待合空間の拡充により、混雑解消を図ります。



南区

「身近にアクセス」子育て応援事業

339万円

気軽にアクセスできるよう、子育てお役立ち情報のホームページを見直し、動画を配信するとともに、発達が気になる未就学児と保護者の交流サロン「みなみん」を新たに子どもプラザでも開催します。



城南区

安全で安心して暮らせるまちづくり

120万円

自治会・町内会単位での防災訓練・研修の実施や、地域における避難所運営などのマニュアル作成を支援するとともに、父親の育児参加などを目的とした啓発リーフレットの配布や子育て講座の開催により、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。



早良区

子ども会活動支援の充実強化

381万円

子ども会活動を支援するために、「こども育成調査アドバイザー」を増員し、相談窓口機能の強化、子育て世代も参加しやすいオンラインを活用した支援施策説明会や事例発表会等の実施に取り組みます。



西 区

有害鳥獣対策事業

107万円

鳥獣被害防止のため、猟友会と協定を締結し、住民に危害を加えるおそれのあるイノシシの捕獲等を実施します。また、イノシシが近づきにくい環境づくりに努め、広報啓発に取り組みます。

